

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	造血幹細胞移植を受ける多発性骨髄腫およびアミロイドーシスの患者における栄養状態の推移に関する研究
研究責任者	医療技術部 栄養課 大林梨花
研究機関名	日本赤十字社医療センター 栄養課
研究目的と意義	多発性骨髄腫とアミロイドーシスに対する治療法の一つに、造血幹細胞移植があります。移植前には必ず化学療法が施行されますが、化学療法の副作用として食欲不振および下痢が高頻度に出現し、栄養状態の悪化を招く可能性があります。造血幹細胞移植を受ける際、栄養状態が良好に保たれていることが重要だと思われませんが、国内における多発性骨髄腫とアミロイドーシスの栄養状態に関する研究報告は少ないのが現状です。 このため、本研究では、多発性骨髄腫とアミロイドーシスの患者様における化学療法時の栄養状態の推移と、化学療法の種類や施行期間による影響を明らかにし、良好な栄養状態を保つための方法を検討することで、今後の治療に役立てていくことを目的としています。
研究方法	対象は、2011年1月から2021年5月までの間に多発性骨髄腫およびアミロイドーシスの患者様で化学療法を施行した方です。 診療上の必要性をもって施行された検査の結果や、診療録の内容を元に、患者様の栄養状態、体格、栄養摂取量の推移を後方的に確認し、良好な栄養状態を保つための方法を考察します。研究結果は学会や論文で発表します。 倫理的配慮: 上記研究は、個人情報の保護に十分配慮した上で行います。個人名が特定されないよう、情報は全て匿名化されます。上記対象に該当される方で、本研究への登録を希望されない場合は、下記までご連絡ください。登録を希望されなくても不利益を被ることは一切ありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 栄養課 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者 : 大林 梨花 TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604